



HIROSHIMA UNIVERSITY

# SGU 本学の成果及び今後の展望

広島大学 理事・副学長 金子 慎治

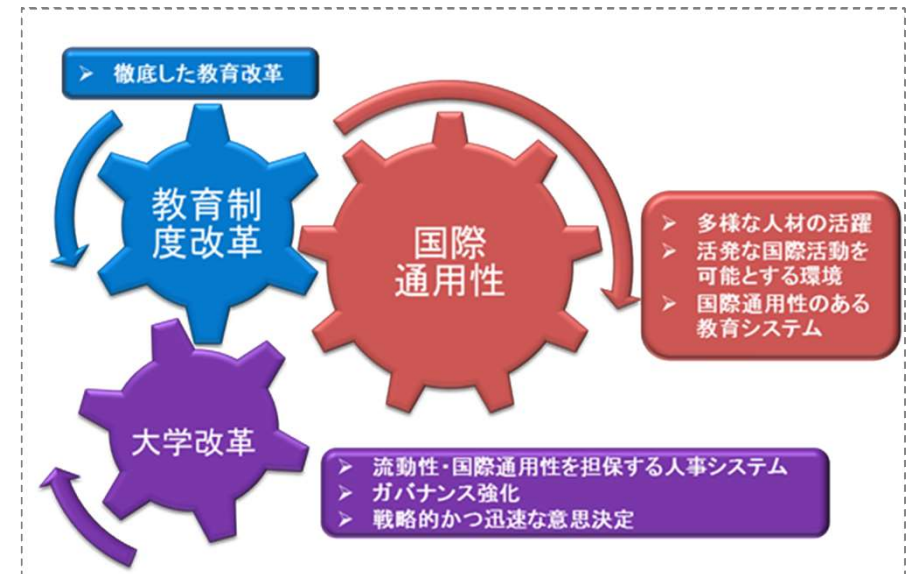
令和7年5月20日

# 目次



HIROSHIMA UNIVERSITY

- (1) 大学改革
- (2) 教育改革
- (3) 国際通用性
- (4) 自走化
- (5) 今後の展望
- (6) 提案



※SGU構想調書より

# (1) 大学改革：人事制度の完全な一元化



## ■ 人事制度の完全な一元化

- 2016年 国立大学初の全学一元管理（学長リーダーシップ）
- 年俸制、テニュアトラック制による新規教員採用を開始
- 客観的指標に基づく新たな人事評価制度を構築

## 成 果

- 年俸制/テニュアトラック制の **SGU数値目標達成**
- 女性・外国人教員割合が増加し **多様性が向上**
- 国際共著論文が2倍に増加
- APKIの平均値が **1.5倍に増加**

|          | 2013  | 2023            |
|----------|-------|-----------------|
| テニュアトラック | 27人   | <b>70人 ↗</b>    |
| 年俸制教員割合  | 0.4%  | <b>38.7% ↗</b>  |
| 女性教員割合   | 14.7% | <b>19.8% ↗</b>  |
| 外国人教員割合  | 24.6% | <b>44.3% ↗</b>  |
| 国際共著論文数  | 490報  | <b>1,185報 ↗</b> |
| APKI平均   | 486   | <b>719 ↗</b>    |
| SCI論文数   | 91    | <b>180 ↗</b>    |
| 外部資金受入   | 30    | <b>116 ↗</b>    |

## (2) 教育改革：①語学力の向上

### ■ 入学試験

- 外国語試験の **みなし満点の全学導入** (2019年度入試より)  
※全国で2校、SGU採択校で唯一

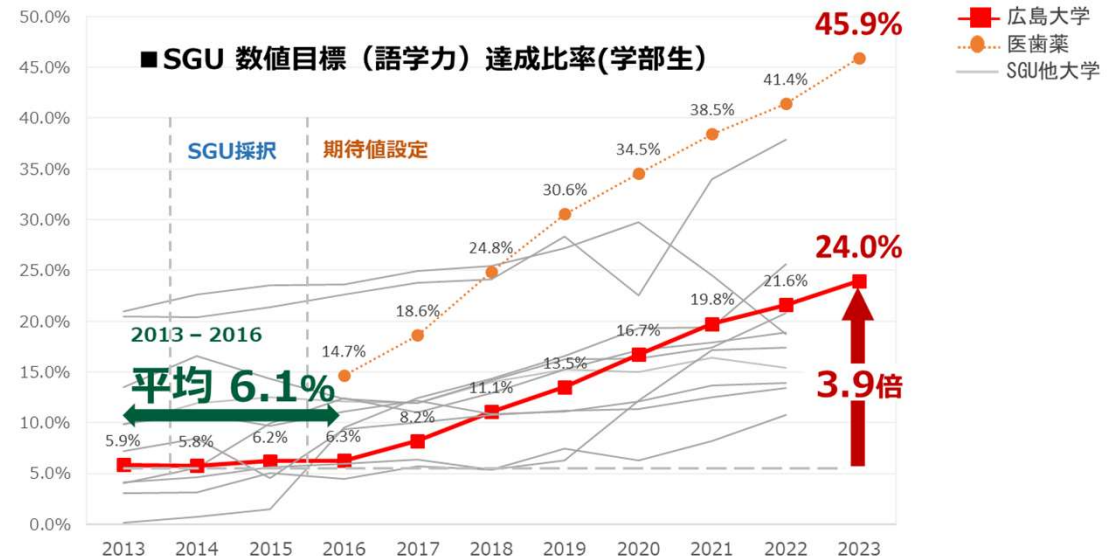
### ■ 入学後

- TOEIC無料受験：卒業までに計8回
- 到達度期待値（目標値）認定：学部生全員一人一人に英語到達度期待値を設定
- 英語学習アプリ（DMM、NEXT）の導入による学生の主体的学習を支援

### 成 果

- 学生の学習意欲が向上
- 英語力の高い学生が大幅に増加

語学レベル達成者  
6.1% ↗ 3.9倍



## (2) 教育改革：②TA制度の改革

### ■ Hirodai TA制度の導入 (2016年度～)

- ・ 階層化TA 制度 (3階層)
- ・ 研修の必須化
- ・ 時給単価の変更

| 階層  | 業務範囲                           | 資格要件                            | 時給                       |
|-----|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| TF  | シラバス作成や単独での授業を担当               | QTAまたは同等の業務経験と「大学教員養成講座基礎」の単位取得 | 1,600円(博士)               |
| QTA | 授業内でディスカッションのファシリテーションや実験デモを担当 | 「QTA資格取得研修会」の受講                 | 1,400円(博士)<br>1,200円(修士) |
| PTA | 授業資料の印刷や出欠確認など、授業運営の補助         | 資格要件は不要                         | 970円                     |

要研修・資格

TF : Teaching Fellow

QTA : Qualified TA

PTA : Phenix TA

### 成 果

- ・ 大学院生が段階的な教育経験を積み、外国人留学生を含み、学生の教育能力の向上と経済支援の両立

#### ■ 2024年度までの採用実績 (延べ数)

TF : 354名 (留学生129名) QTA : 13,158名 (留学生2,182名)

## (2) 教育改革：③教養教育の国際化

### ■ 教育の国際化の全学的推進による **国際教養人の育成**

地域・テーマごとの育成

世界展開力(印・太平洋)  
2022年度～

アジャイル  
企業精神

デジタル  
リテラシー

5年連続で世界展開力に採択！

世界展開力(米国/EU)  
2023/24年度～

複数  
他者理解

長期ビジョン  
平和を希求し  
チャレンジする

**国際的教養人**

多様性  
包摂性

世界展開力(アジア諸国)  
2021年度～

全学部教養教育(必修)  
2011年度～

平和科目

持続可能な  
発展科目

大学院共通科目(選択必修)  
2019年度～

(3) 国際通用性：①教育内容と制度改革

# SGUで求められる教育の国際通用性の達成

## 【SGU採択前】

- GPAの導入：2006年に導入済み
- 学修成果中心教育：到達目標型教育プログラム「HiPROSPECTS®」 2006年に導入済み

【SGU採択後】

- コースナンバリング：100% 2016年達成 ・ シラバスの英語化：100% 2016年達成
- 海外留学特定プログラム展開：Global Peace Leadership Program 2017年から実施
- 国際バカロレアの受入れ 12学部で導入 2学部2名  $\nearrow$  7学部19名 が利用  
2016年度入試 2023年度入試
- 英語の授業数の増加 1.9% (111科目)  $\nearrow$  30.7% (1,777科目)  
2013年度 2023年度
- 英語で完結する学部プログラム：国際共創学科 2018年4月 設置済み
- 英語の超学際大学院：大学院スマートソサイエティ実践科学研究院 2023年4月 設置済み

## (3) 国際通用性：②国際的なブランディング

### ■ THEインパクトランキング

- 広島大学FE・SDGsネットワーク拠点（NERPS）を中心に「Peace and Sustainability」の超学際研究を開始（2018年度～）
- 本学独自の評価指標（AKPI）でSDGs貢献度を可視化



ここから世界の平和をつくる

広島大学FE・SDGsネットワーク拠点  
NETWORK FOR EDUCATION AND RESEARCH ON PEACE AND SUSTAINABILITY



Times Higher Education  
**Impact Rankings**  
2024 TOP 200

HIROSHIMA UNIVERSITY

総合スコア **3** 年連続国内 **3** 位

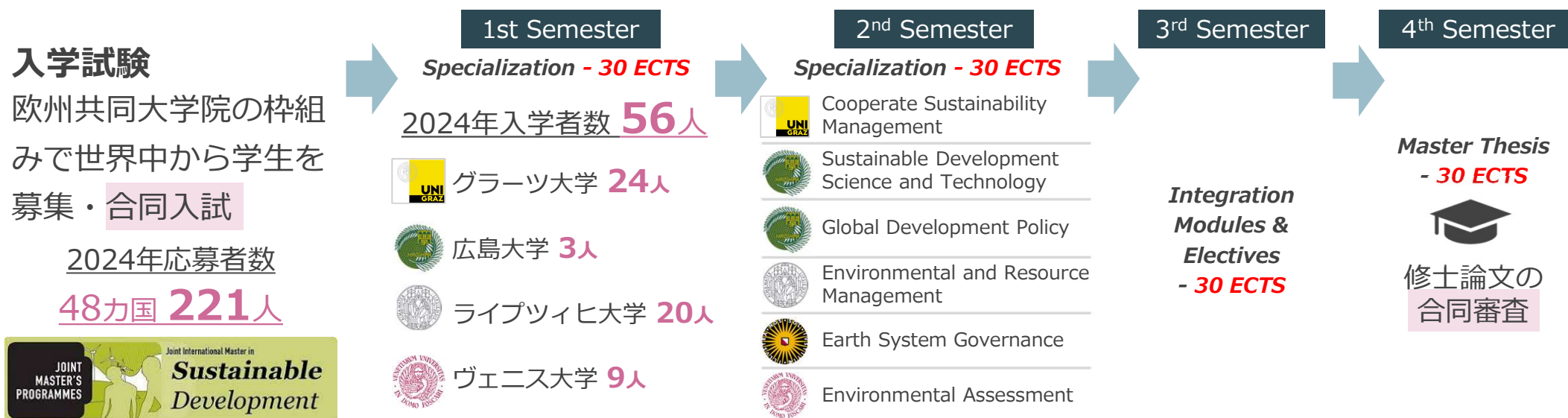
SDGs **3** 項目で国内単独 **1** 位 

国内最多 SDGs **7** 項目で世界トップ **100**



## (3) 国際通用性：③国際教育連携（ジョイント・ディグリー）

### ■国際共同修士プログラム（国際連携専攻2専攻 2020年度～）



- ・ 欧州の電子出願システムを活用し、グローバルな学生募集を実現！
- ・ 欧州コンソーシアムとの修士論文の合同審査を実施、効率的かつ統一的な審査を実現

## (3) 国際通用性：④教育評価

### ■ SERU調査：研究大学の学習体験と教育効果の質保証

*Student Experience in the Research University*

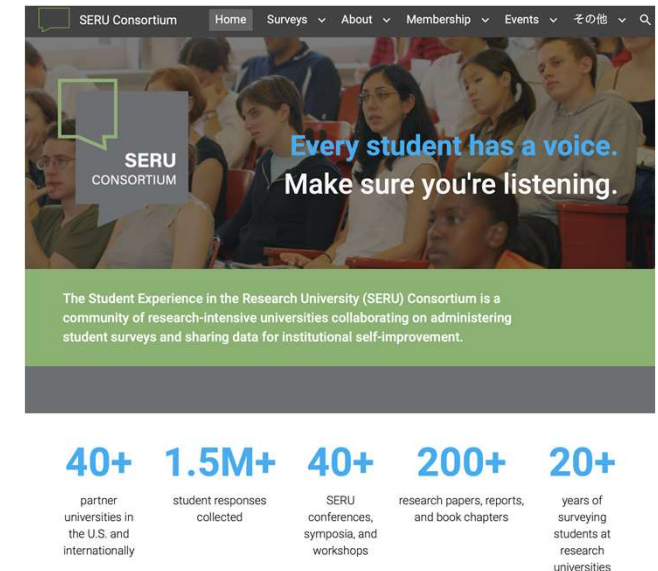
- 世界トップ大学のコンソーシアム（日本で2大学目）
- HiPROSPECTS®プログラムでピア・レビューを実施

教育の質の  
高さを確認

### ■ BEVIテスト：異文化教育の効果の質保証

*Beliefs, Events, and Values Inventory*

- 日本初のBEVIテストを導入（2016年度）
- 学生の価値観や信念の変化を客観的に測定
- 留学や教育プログラムによる成長を可視化



- 成果**
- SERUピア・レビューにより、教育学習活動を支援する教育学習支援センターを設置
  - BEVIワークショップを294回開催、のべ約2,800名参加（2023年度末までに）
  - BEVIテストの活用で学生の成長測定を他大学にも展開し、148機関で採用

## (4) 自走化

---

### ■ SGUの取り組みの自走化

#### 1.大学改革

- 人事制度一元化：学内人事システムとして恒常的に運営中

#### 2.教育改革

- 語学力の向上：全学教育として自主財源で運営中
- Hirodai TA制度：全学的取り組みとして自主財源で実施中

#### 3.国際通用性

- 教育の質保証：教育評価を恒常的に自主財源で運用中

## (5) 今後の展望：①新たなパートナーシップ



### UPWARDS for the Future (2023年度～)

- 2023年 **G7サミット** での日米合意
- マイクロンメモリジャパン、日米**11大学**と連携
- **5つのピラー**：(1)最先端半導体カリキュラムの策定、(2)女性技術者の育成、(3)経験型学習機会の増加、(4)共同研究、(5)国際交流

#### ■ 交流実績

- パデュー大学に**7名**を派遣 (2023年)
- パデュー大学から**23名**の学生を受入 (2023年)
- 第3回UPWARDS日米合同会議を**日本初開催** (2024年11月)



交流分野拡大 **半導体から理工学全領域へ**

交流基盤拡大 **メガエクスチェンジ協定** (100人規模の学生交流)

2024年 アイダホ大学 (米国) / 2024年 国立中央大学 (台湾)

## (5) 今後の展望：②国際的なリーダーシップ



### ■ 第1回平和学長会議（2024年8月）

- 7カ国10大学の学長等30名が参加
- 平和学長宣言の採択
- 学生・若手研究者の国際交流



広島大学とアフリカ連合との大学間交流協定の締結

### ■ アフリカ・チャプター（2024年11月）

- アフリカ地域の学長等約20名が参加
- 世界初のアフリカ連合（パンアフリカン大学）との大学間交流協定の締結
- 大学院生20名/年の学生受入れ
- 平和学長宣言の採択

大学の教育・研究成果を地域課題解決に応用する体制の確立

# 平和を希求しチャレンジする国際的教養人の育成



**Town & Gown構想** を核とする地域共創の **多文化共修教育システム** により、  
**社会貢献と大学の持続的発展** を目指す

## (5) 今後の展望：③ソーシャルインパクト創出のための多文化共修キャンパス形成支援事業

既存の取組を多文化共修科目として統合・全学で実践

プログラム計画の具体的な内容

### 地域課題解決に取り組むステップアップ型教育システム

| 対象 |       | 科目                                                                                                                                                                                          | 日本人学生                                                                                                                                                                      | 外国人留学生                                               |                                        |
|----|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1  | 学部1   | <b>平和共修科目：1単位/14科目</b><br><b>「多文化共生と地域連携で創る平和」</b><br>■ オンデマンド講義: 広島での平和学、防災、過疎化、多文化理解、ジェンダーを学習<br>■ 地域課題フィールドワーク: 地域課題の実践学習<br>■ グループディスカッション: 留学生と日本人学生が共に平和構築を議論<br><br>異文化との共修で平和の多角的理解 | <br> | 2026年 400人<br>▼<br>2029年<br><b>2,152人</b><br>(1年生全員) | 2026年 38人<br>▼<br>2029年<br><b>234人</b> |
|    |       |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                      |                                        |
| 2  | 学部1/2 | <b>海外共修科目：1or2単位/14科目</b><br><b>(多文化共修研修)</b><br>海外の協定校での現地視察やディスカッションに参加                                                                                                                   |                                                                                        | 2029年<br><b>380人</b>                                 | 2029年<br><b>10人</b>                    |
| 3  | 学部3/4 | <b>地域課題共修科目群：1単位/2科目</b><br><b>(地域課題共修方法論、地域課題共修演習)</b><br>多文化共修を通じた地域課題の実践的な解決策提案                                                                                                          | <b>課題解決力</b>                                                                                                                                                               | 2029年<br><b>60人</b>                                  | 2029年<br><b>40人</b>                    |
| 4  | 修士    | <b>国際・地域課題共修科目群：1単位/2科目</b><br><b>(国際共修チームプロジェクト、国際共修演習)</b><br>国際的な課題解決に取り組む実践的能力                                                                                                          | <b>リーダーシップ</b>                                                                                                                                                             | 2029年<br><b>10人</b>                                  | 2029年<br><b>10人</b>                    |

## (6) 提案：留学モビリティの拡大と高等教育機関の国際化

---

### ■ 広島大学の提案

- 留学モビリティの拡大 → 学生の負担削減
  - 1. 質保証VS費用対効果（例 ダブルディグリー）
  - 2. 大学間のコンソーシアム、組織連携
  - 3. 段階的な留学（課題：JASSO奨学金）
  - 4. 企業との連携（グローバルインターンシップ）
- 高等教育機関の国際化
  - 大学経営の視点から：留学生の授業料

ご清聴ありがとうございました



広島大学マスコットキャラクター「ひろティー®」